

# MIOFIVE

## ドライブレコーダー降圧ケーブル利用説明書

この説明書は、ドライブレコーダーと降圧ケーブルセットを正しく安全に取り付けるために必要な情報を提供します。この製品の取り付けまたは利用を試みる前に、本説明書をよくお読みください。

## 安全指示：

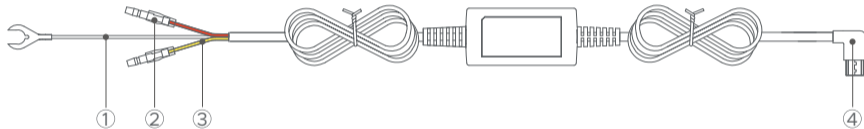
- エンジンがオフの状態を取り付けてください。
- 活線を剥がさないでください。
- 取り付けの際には正しい電極を選択し、安全に接地してください。
- 負極接地のDC電源回路に接続してください。
- 正極接地回路に接続しないでください。

## WARNING：

- 付属の取り付けキットまたはハードウェアを使用しないと、製品保守サービスが利用できなくなります。
- 指示通りに製品を接続しないと、車のバッテリーを放電させる恐れがあります。
- 本説明書に書かれているご注意や指示を守らず、製品や車に不具合が生じた場合、本製品の品質保証対象外となりますのでご注意ください。

## 商品の概要

### 降圧ケーブル



① 黒線. (GND) アース線.

③ 黄線. (B+) 常時電源.

② 赤線. (ACC) イグニッションケーブル.

④ Micro USB 電源コネクター.

ヒューズホルダー x 8 (Regular Fuse x 2, Mini Fuse x2, Low-Profile Mini Fuse x2, Micro2 Fuse x2)



ヒューズ端子 x 8 (Regular Fuse x 2, Mini Fuse x2, Low-Profile Mini Fuse x2, Micro2 Fuse x2)



Regular



Mini



Low-Profile Mini



Micro2

### 備考:

#### 種類別名

- Regular, standard, ATS/ATO Fuse, ACU
- Mini Fuse, (APM / ATM), ACS
- Low-Profile Mini Fuse, LP-mini (APS), ACN
- Micro2 Fuse, M2

## 取り付けガイド:

### [ヒューズボックスを確認]

1. 車内のヒューズボックスを見つけて開けます。ヒューズボックスは通常、運転席にあります。エンジンルームにある場合もあります。ボックスを開けると、通常はヒューズの詳細なレイアウトを示す図があります。または、車メーカー配布の取扱説明書に書いてある場合もありますので、ご確認ください。

- 1) ヒューズボックスの設置場所は車によって異なりますので、よく確認してみてください。
- 2) 一部のブランド車および輸入車には、車の左側/右側に複数のヒューズボックスが設置されている場合があります。その場合、降圧ケーブルを助手席側に接続してください。

### 2. 降圧ケーブル (ACC、B+)、ヒューズのチェック :

1) ACC/B+ケーブルを接続する前に、コードテスターでケーブルと対応するヒューズを識別します。エンジンをオン/オフにして、ヒューズが正常に機能していることを確認します。

- ACC : キーがACC又はオンの場合、電流が流れます。また、オフの場合、電気が遮断されています。
- B+ : エンジンがオンかオフに関わらず、常に電気が流れます。
- GND : (アース線) をヒューズボックス周りの鉄片のネジに接続します。

## [ヒューズボックスに降圧ケーブルを接続]

**備考:** 専門知識が必要です！疑問がある場合、取り付け前に専門者にご相談ください。

- 車メーカーからもらった取扱説明書を必ず参照して、ヒューズスロットが安全に使用できることを確認してください。
- ラジオ、ドアチェック、サンルーフなどを制御するヒューズスロットは、一般的に安全に使用できます。
- エアバッグ、ホーン、ESPなどのヒューズスロットにヒューズホルダーを接続させないでください。

### 1.適切なヒューズホルダーを選択

降圧ケーブルの設置には2つのヒューズホルダーが必要です(常時電源ケーブルとイグニッションケーブル両方に取り付けるためです)。一つのヒューズホルダーを常時電源ケーブルの黄線に接続し、もう一つをACC/イグニッションケーブル(赤色)と接続します。接続完了後は、ヒューズホルダーをスロットに戻してください。

- 降圧ケーブルをヒューズホルダーに接続してください。



ヒューズホルダー



降圧ケーブル

- 確実に差し込みしてください。接続完了後、ヒューズホルダーと降圧ケーブルを軽く引っ張り、接続に緩みがないか確認してください。接続が緊密になっていれば、正しく接続されています。

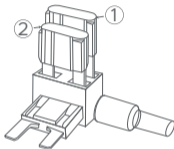


ヒューズホルダー

降圧ケーブル



- 降圧ケーブルとヒューズホルダーにヒューズが一つありますので(位置 ①)、それを取り外さないでください。そのヒューズは機械を保護するためにあります。車の元のヒューズを取り出し(ヒューズ付きのロットを使用する場合のみ)、ヒューズホルダーの下のロット(位置 ②)に差し込みます。取り付けの順番を間違えると、降圧ケーブルに給電できなくなります。



2. 最後のコード(黒色)を、金属製の接地用端子台に接続させます。アース線をヒューズホルダーに差し込む必要はありません。金属製の接地用端子台に接続するだけで十分ですので、ご注意ください。先に進む前に、これらのラベルをよくお読みください。プラスチック部品に付着していないことをチェックし、選択したナットやボルトにコーティングが施されていないことを確認してください。接地スロットに接続するには、ナットまたはボルトを緩め、スライドインさせてから再度締めてください。接地するナットまたはボルトを緩めるために、レンチが必要になる場合がよくあります。

### 3. よくある誤操作

- キットとイグニッションケーブルの方向が逆になっている：導線が切り替わると、ドライブレコーダーに不具合が生じ、場合によってはバッテリーが切れてしまう恐れさえあります。
- 接地不良：適切に接地されていないと、ドライブレコーダーの電源が入りません。車が衝撃を受けると、接続が緩んでいれば、機械が再起動する恐れがあります。
- ヒューズが溶断される：付加ヒューズ上のヒューズが溶断すると、降圧ケーブルが通電しなくなります。シガーライターまたは降圧ケーブルの内張りガラス管ヒューズも溶断される恐れがあります。

#### [カメラ電源コードの取り付け]

1. 上記の手順を完了したら、Micro USB 端子をドライブレコーダーの電源コネクタに接続し、車のエンジンをオンにして、機械が作動するかどうかを確認してください。何度もテストして、すべてが正しく作動しているかをご確認ください。車のエンジンをオンにすると、ドライブレコーダーが作動します。レコーダーが作動されると、車のエンジンをオフにして30秒お待ちください、レコーダーが自動的にタイムラプスモードまたは駐車監視モードに切り替えられるかを確認してください。

**備考:** 何度もエンジンをオンオフさせて、設備が安定しているかを確認してから、配線ケーブルを収めてください。そのほうが故障を早めに直せます。

2. 問題がなければ、すべての配線ケーブルを車内の内張りに収めてください。余分な配線ケーブルはフレームに固定すると異音を防止できます。配線が完了したら、取り外したヒューズボックスを閉じてください。

## 安全保護

1. 低電圧保護

2. 過電圧保護

3. 出力短絡保護

4. 出力過電流保護

5. ESD 静電保護

6. 過渡パルス保護

## 製品仕様

定格入力電圧：DC 9V ~ 16V

定格入力電流：1.5A

定格出力電圧：4.75V-5.35V

定格出力電流：2.4A

低電圧保護：11.4 ± 0.2V

過電圧保護：30V

過電流保護：2.8A

作動温度：-4 ~ 158 ° F (-20 ~ 70 ° C)

接続タイプ：MicroUSB

送電線の長さ：3.5M / 11.5FT

## アフターサービス

18ヶ月保証

メールアドレス: [support@miofive.com](mailto:support@miofive.com)